



ひろみっこ

令和3年3月1日
富士市立広見小学校
学校だより 3月号

小中一貫教育目標 「一生懸命 がんばる」
重点目標 「ともに学ぼう 挑戦しよう」

3月の生活目標 「ありがとうの気持ちをあらわそう。」

校長 石原 克己

1月が「行き」、2月が「逃げ」、3月に入りました。3月の季節行事と言えば、「ひな祭り」を思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。ひな人形を飾るので「ひな祭り」と言いますが、桃の花を供えることから、「桃の節句」とも言われます。桃の花には、邪気払いの効果があるようです。

「ひな祭り」は、女の子の健やかな成長を願う行事です。しかし、実は、もともとの「ひな祭り」は、女の子のための行事ではなかったそうです。昔、季節の節にあたる3月3日に紙で人形（ひとがた）を作って、その人形で子どもの頭のとっぺんから足の先まで、体をなぞって体の汚れやよくないことをその人形に移るようにおまじないをかけ、そして、その人形を川や海に流して、今年1年、子どもたちが健康で、元気に暮らすことができるように祈っていたことが起源のようです。いつの時代でも、子どもの健やかな成長や幸せを願う親の姿があったということです。

令和2年度も、学校生活は、残り15日となりました。進級・進学に向けた大事な期間になります。ご家庭においても、お子さんのこれまでの成長と前向きな思いを大切に、意欲をもって進学・進級への第一歩を踏み出すことができるよう、あたたかな言葉掛けと見届けをお願いいたします。また、コロナ禍において、今年度の終末を無事に迎えられましたのは、ひとえに保護者の皆様と地域の方々のご理解とご支援の賜物と感謝申し上げます。



◇「6年生感謝の会～広見小からのありがとう～」◇

2月26日（金）、スローガン「6年生の思い出の1ページになる最高の会にしよう！」のもと「6年生感謝の会」を開きました。当日だけではなく、5年生を中心に、似顔絵付の6年生メッセージカード作成や廊下の飾り付けまでを各学年で分担して取り組んできました。会場には、6年生一人一人の手形から作成し、夢が書き込まれた鳥が舞っていました。密を避けるために入れ替わりによる3部構成の会でしたが、淋しい感じは受けませんでした。

6年生の少し緊張した面持ちの入場から会はスタートしました。各学年から、合唱、合奏、感謝の言葉などの心のプレゼントが贈られました。1年生は、6年生から「あんしん」「やさしさ」「たのしさ」の3つの「ほかほか」を受け取ったことを伝え、スイミーの音読と運動会で踊ったダンスを披露しました。そして、最後に、ハートの集合写真を提示して「だーいすき！」という言葉を送りました。2年生は、「夢見るジャンプ」の替え歌を織り交ぜながら、集団登校やボランティア清掃、たてわり活動の様子を寸劇にして、6年生へ感謝の気持ちと憧れの思いを伝えました。3年生は、「パフ」のリコーダー演奏から始まり、「いただきへの、はじまり」ダンス、手話を付けた「にじ」の合唱を披露しました。全員が明るく元気に体を動かす姿に6年生への感謝の気持ちがあらわれていました。4年生は、学習の振り返りとして、クイズ形式で3択問題を出题したり、なめらかに「ゆうき」を歌ったりして4年生のときの学習の思い出を誘いました。最後は、言葉とともにパネル文字で「ありがとう」を伝えました。5年生は、6年生の思い出スライドとともに「ふるさと」を気持ちを揃えて歌い上げ、6年生と一緒に創り上げた運動会のフラッグ演技を披露しました。また、「中学校でも、Let's 考動」のメッセージを贈りました。6年生は、3部のそれぞれで、その学年のよさやがんばっていること、その学年との思い出、励ましの言葉を投げ掛けました。そして、「いのちの歌」「旅立ちの日に」を気持ちを込めて歌い、下級生の思いを受け止めるとともに卒業への気持ちを高めました。

「6年生、ありがとう。」「6年生、大好きだよ。」と、気持ちを込めて語り掛ける姿に、6年生とともに大きな感動を覚えました。

